



セグエグループ株式会社

【証券コード：3968】

2020年2月19日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。



1. 2019年12月期 ハイライト
2. 事業環境
3. 長期ビジョンと中期目標
4. 2020年12月期 施策と業績予想
5. 参考資料

1. 2019年12月期 ハイライト



上場来の増収増益を継続、 売上、各段階利益ともに過去最高額を達成！！

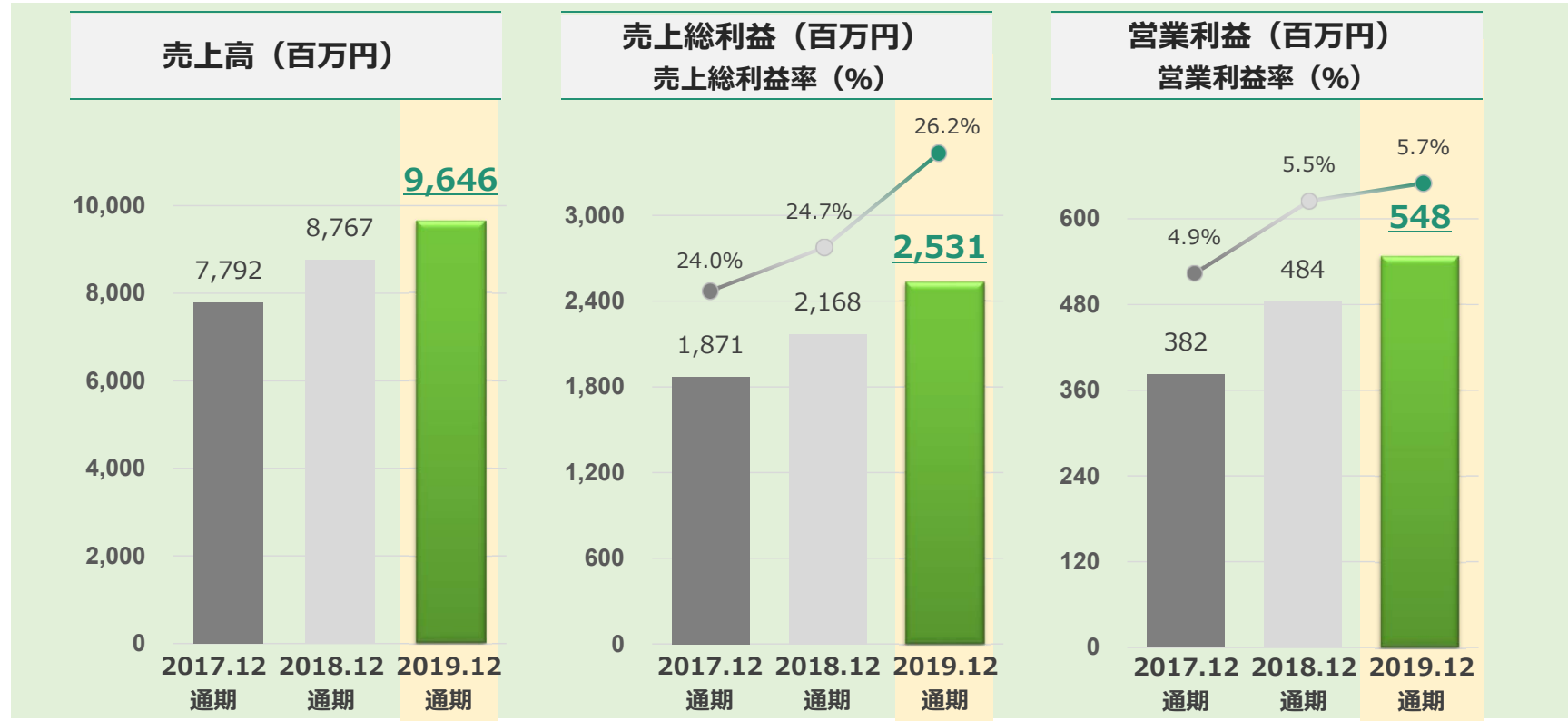
() 内：前期比

売上高	売上総利益	営業利益	純利益
96.46億円 (10.0% UP)	25.31億円 (16.7% UP)	5.48億円 (13.2% UP)	4.11億円 (9.1% UP)

業績概要

- ✓ プロダクトの販売が好調
- ✓ 保守・サブスクリプション及びヘルプデスク等のサポートサービス販売も堅調に推移
- ✓ 新製品の取扱い、自社開発製品の販売パートナー獲得推進
- ✓ 将来の成長に向けたM&A、人財や社内環境・システム等への積極的な投資を実施
- ✓ 保有株式売却益を計上

売上総利益率、営業利益率ともに伸長し過去最高を達成



事業アクション

プロダクト

- ▶ **主要取扱い製品**
ホテル・観光需要やIoT化の進行等によりRuckus Networksが好調
- ▶ **新規取扱**
 - 2019年2月 AIでセキュリティ対応を自動化 米国 Stella Cyber
 - 2019年5月 IIoTセキュリティソリューション イスラエル Cyber-X
 - 2019年8月 ネットワーク構成とリスクを管理 米国 Skybox Security

自社製品

SCVX

- ▶ 金融、医療等への導入が増加
- ▶ 2019年7月 Version3をリリース
⇒ NTTスマートコネクト、インテックのサービスに採用



RevoWorks

- ▶ 2019年10月 RevoWorks Browserをリリース



WisePoint

- ▶ 2019年4月 Version7をリリース

成長のための投資

採用強化
業務効率化

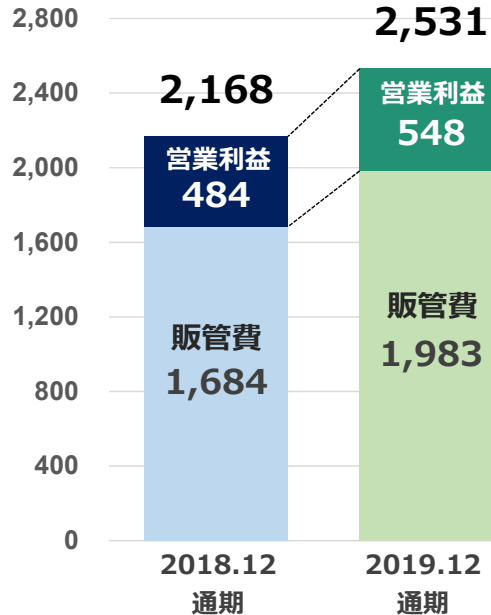
- ▶ 積極的な社員の採用
中核人材の増強
ITエンジニアを中心とした人手不足の事態に備える
- ▶ 業務効率化を推進（システム刷新、増床）

M&A

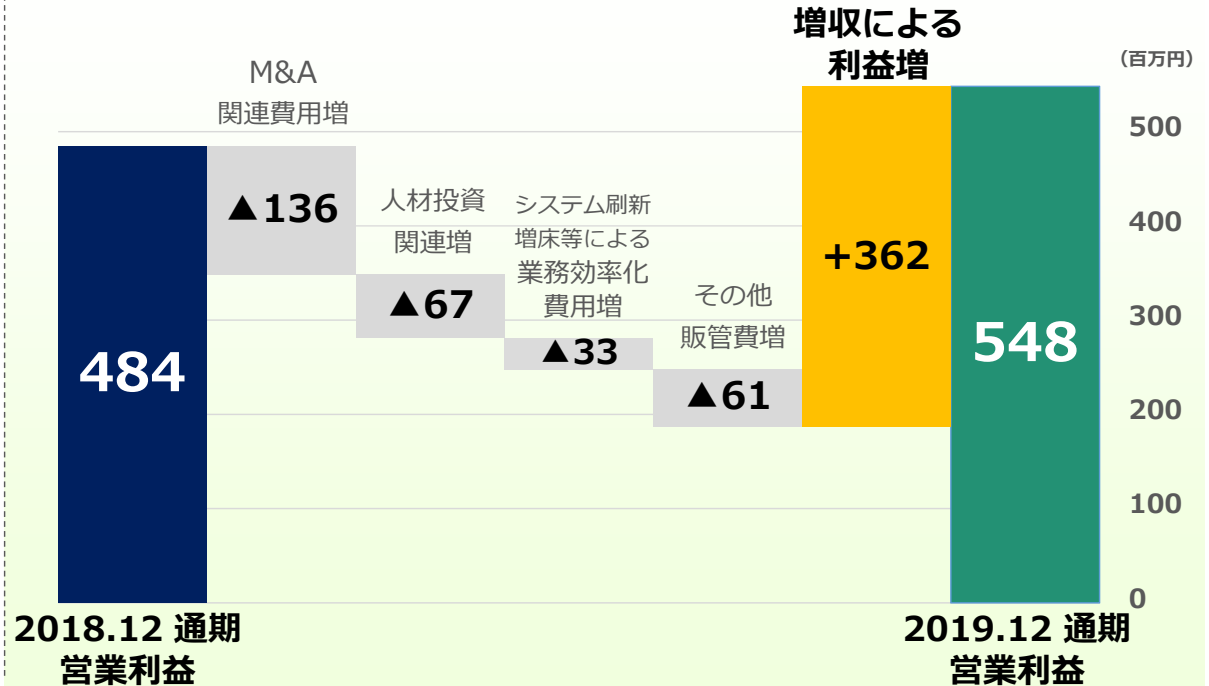
- ▶ 2019年3月 株式会社アステムを子会社化
⇒ 九州地区を中心に営業力・技術サポートを強化



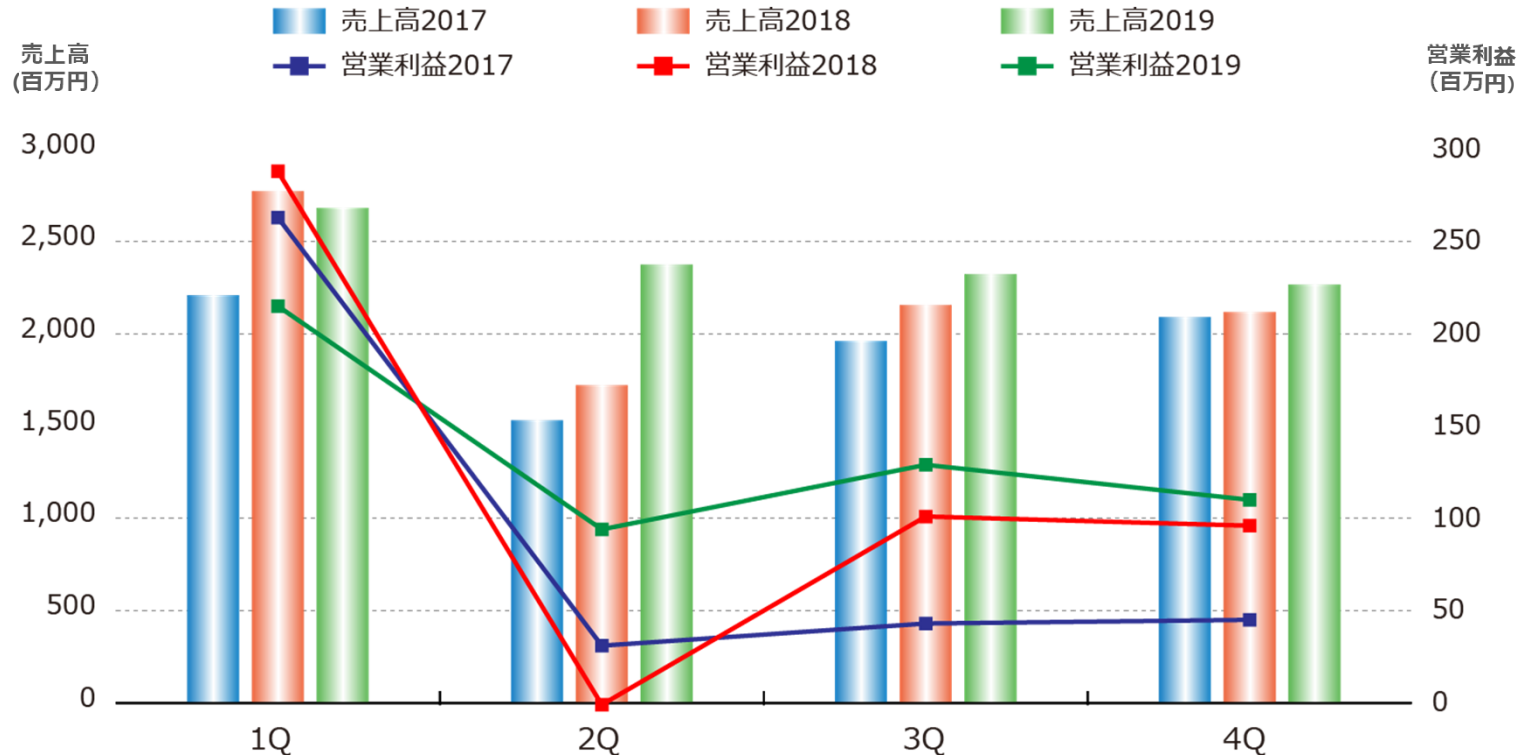
売上総利益（百万円）



先行投資による販管費増を増収で吸収



四半期の売上高と営業利益の推移



堅調なストック売上 前受金が前期比で約1.3倍に

単位：百万円

	2018.12 期末	2019.12 期末	増減額		2018.12 期末	2019.12 期末	増減額
流動資産	4,359	5,044	685	流動負債	2,685	3,106	420
現金・預金	1,663	2,180	517	買掛金	595	508	▲86
受取手形、売掛金及び 電子記録債権	1,189	1,235	45	短期借入金等	-	8	8
たな卸資産	686	640	▲46	前受金	1,620	2,079	458
その他	819	987	168	その他	470	511	40
固定資産	990	1,102	111	固定負債	213	252	39
有形固定資産	167	190	22	負債合計	2,899	3,359	460
無形固定資産	219	301	82	純資産合計	2,450	2,786	335
投資その他資産	603	609	6	負債純資産合計	5,350	6,146	796
資産合計	5,350	6,146	796				

前受金の推移 ソリューションサービスのうち、サポートサービス・サブスクリプション等の
ストック性のある将来売上を測る指標

2. 事業環境



高度情報化社会におけるさらなるセキュリティ需要の拡大

- これからは情報の奪取だけでなく、自動車乗っ取り等人命にも関わるような事態も

Robotics

IoT, IIoT

- 窃取した情報、ハッキングツール等闇社会で売買

DarkWeb

- 工場自動ネットワーク化普及と乗っ取り

- ランサムウェア (身代金要求型マルウェア)
- フィッシング詐欺

ビッグデータ

- IoT家電の普及と乗っ取り
- 仮想通貨の流出

マイナンバー

- 自治体情報システム強靱化
- セキュリティ対策強化

サイバー攻撃

- Webサービスの停止、改ざん

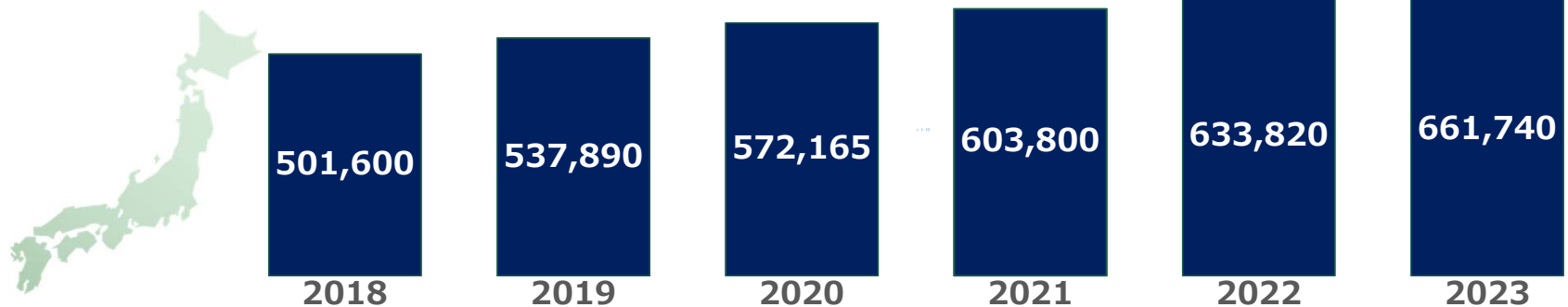
ウイルス等マルウェア

- ウイルス等黎明期は愉快犯や自身の技術カアピール

☆ 世界各国のコンピュータが接続 ☆



日本市場 年平均成長率 5.1  5.7 %



単位：百万円

世界市場 年平均成長率 10.4 %



単位：1億ドル

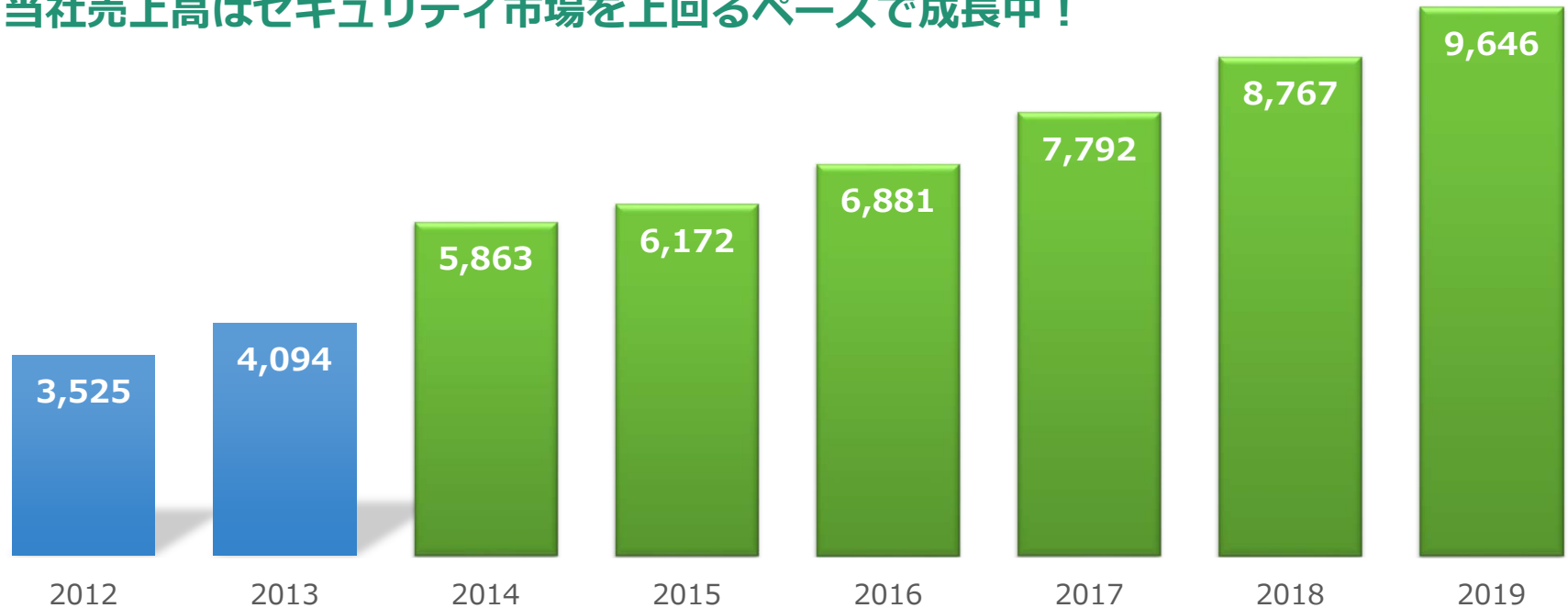
出所：富士キメラ総研「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」
「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」

Statista「Cybersecurity market revenues worldwide 2017-2023」

当社売上年平均成長率 **15.5** % (2012~2019)

単位：百万円

当社売上高はセキュリティ市場を上回るペースで成長中！



※2012年および2013年の数値はジェイズ・コミュニケーションの実績数値による

最先端技術、グローバル技術、ニッチ技術等 搭載したプロダクトを
米国をはじめとするセキュリティ先進国から輸入

エンドユーザーの要望に応じ、最適な製品を提供



セキュリティ分野 取扱製品

- Firewall/ VPN
- 次世代Firewall
- マルウェア対策
- IPアドレス管理
- UTM ・ WAF
- セキュリティ脆弱性診断、管理

- ネットワーク管理
- «自社開発製品»
- インターネット分離ソリューション「SCVX」
- テレワークソリューション「RevoWorks」
- ワンタイム認証
シングルサインオン「Wisepoint」シリーズ

主な輸入代理店契約メーカー



NWインフラ	サイバーセキュリティ対策ソフトウェア	モビリティ・認証
GWセキュリティ		Wi-Fi
	<p>AI・自動化のソフトウェアにより セキュリティ技術者の不足を補い 安全、快適なソリューションを提供します。</p>	
ルーター		リモートワーク
MXシリーズ		
スイッチ		
EX/QFXシリーズ		認証
SDN		
Contrail	インテグレーション・トータル提案	



通信事業者 データセンター
サービスプロバイダ



官公庁、地方自治体
教育機関、医療機関



エンタープライズ
製造業、金融機関等

セキュリティ・ITインフラのトータルソリューションを提供し
お客様のビジネス基盤を支えます



セキュリティ

標的型攻撃対策、情報漏洩対策、脆弱性対策、
テレワークセキュリティ



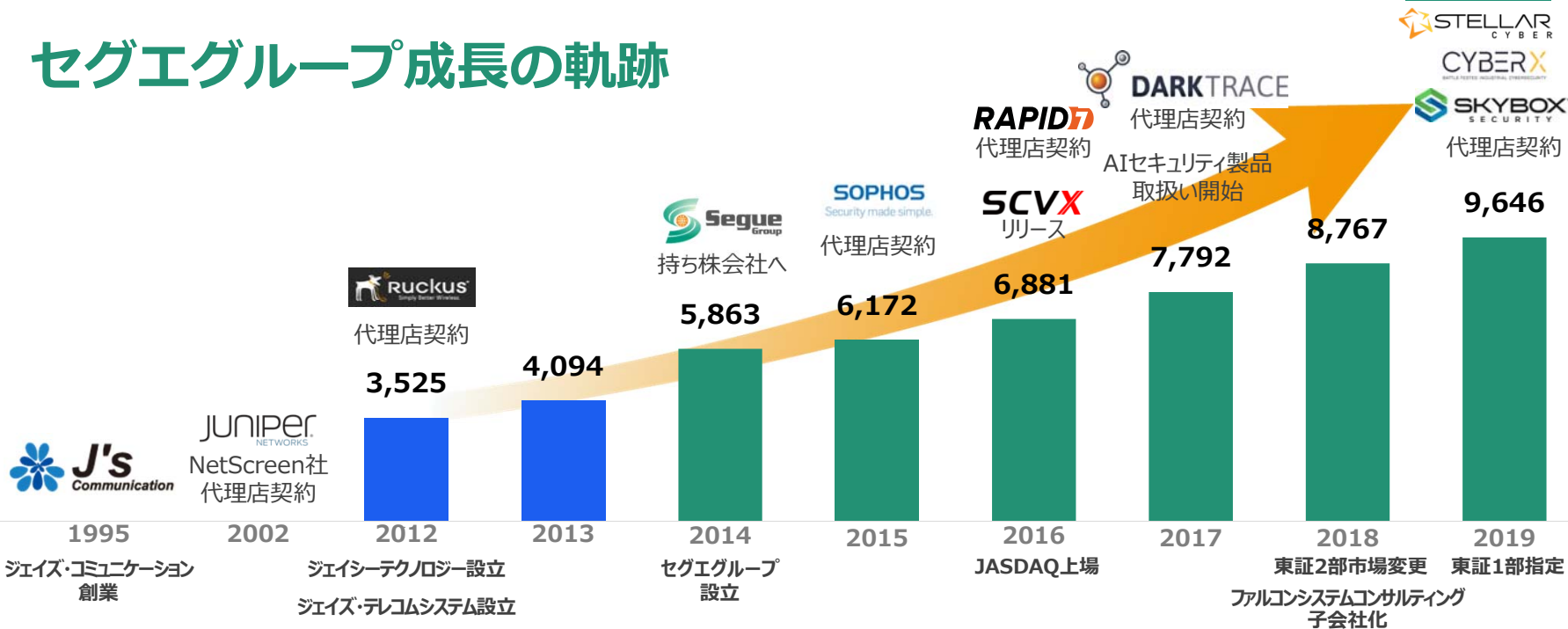
ITインフラ

ネットワーク、仮想化、クラウド、
ワイヤレス

3. 長期ビジョンと中期目標



セグエグループ成長の軌跡



- ・ 持株会社の下、代理店ビジネス以外の領域を着実に拡大してきている。
- ・ 2012年から15%超のCAGR（年平均成長率）を達成している。
- ・ ジャスダック上場から短期での東証1部昇格を果たした。

セグエグループが目指す長期的な方向性

ネットワークセキュリティの 新たなリーディングカンパニーへ

AIやIoTなどの新しいテクノロジー、ユニークな発想のメンバーを結集した
**セキュリティソリューションプロバイダービジネスを展開し、
お客様、パートナーから信頼され、自らが誇れる業界TOP企業を目指します。**

市場を取り巻く環境変化

- ▶ 技術革新、AI、デジタルトランスフォーメーション
- ▶ Society5.0
- ▶ 多様化・複雑化するサイバー攻撃、テロ
- ▶ 地政学的リスク
- ▶ 少子高齢化、深刻な技術者不足

「機会」と「脅威」

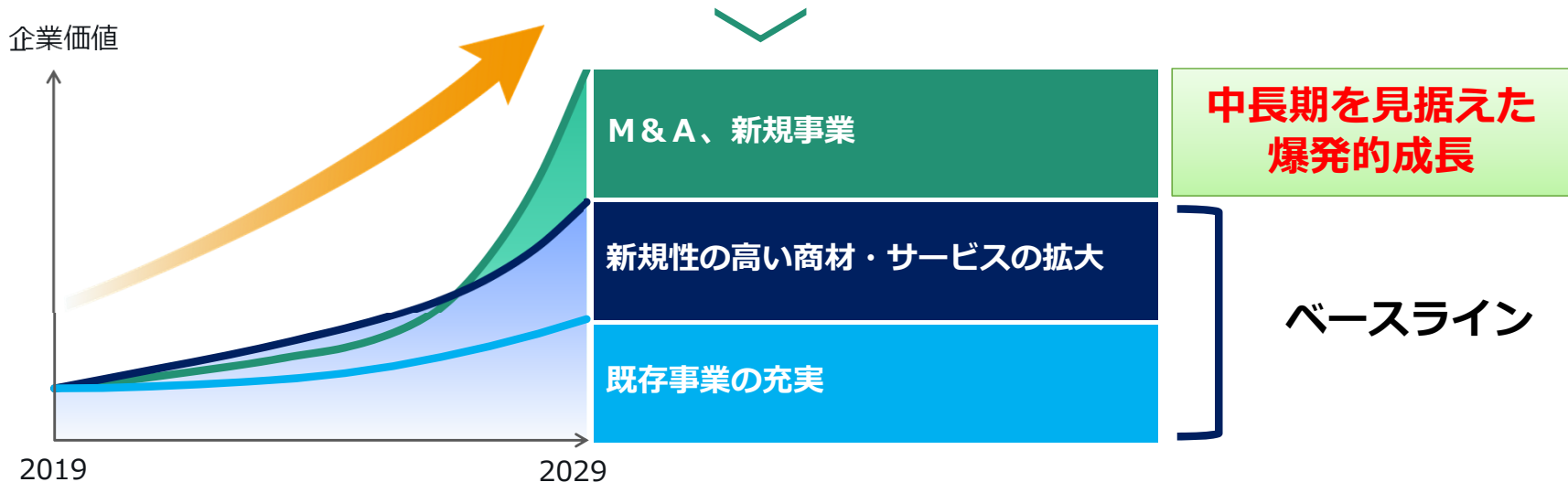
- ▶ 変化に伴う新たな成長の可能性
- ▶ 従来型ITから先端ITへの転換
- ▶ 製品軸からサービス軸への転換

▶ 変革により脅威を機会に転換し、継続的な発展へ

経営戦略の基本方針

企業価値向上を追求していきます

- ・ 既存事業分野の持続的成長
- ・ 新規プロダクト、サービス、自社製品、自社サービスへの集中投資と拡大
- ・ M & A 戦略および新たなビジネスモデル創出による爆発的成長



今後のセグエグループは？

安全で先進的な I T 利活用を支える
I T & セキュリティソリューションのリーディングカンパニー

ビジネスのコアは？

ネットワーク技術 & 情報セキュリティ技術、OSS開発力の
プロフェッショナル



Next、続く (to be continued)、間断なく進行する
という意味。同盟、友という意味。

① プロダクト販売の推進

売上高 40億円 ⇒ 50億円

② 自社開発製品の開発、販売の推進

売上高 4億円 ⇒ 10億円

③ システムインテグレーション、SEサービス事業の推進

売上高 17億円 ⇒ 30億円

④ 西日本地域の事業拡大

売上高 35億円 ⇒ 50億円

上記の4つの柱を中心に事業拡大をはかっていきます。

(注) 上記数値は概算です

2019年12月期実績

売上高

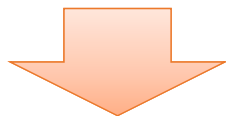
96億円

営業利益

5億円

営業利益率

5.7%



2022年12月期目標

売上高

150億円

営業利益

10億円

営業利益率

6.7%

4. 2020年12月期 施策と業績予想



中核子会社の組織をビジネスユニット制に

営業と技術の連携を強化し、経営の迅速化を図る

ジェイズ・コミュニケーション組織

2019年12月期

営業本部

技術本部

事業推進本部

管理本部

2020年1月1日～

4つのビジネスユニット
(営業&技術)

VAD

SI

自社
開発

西日本

マーケティング戦略本部

営業管理本部

管理本部

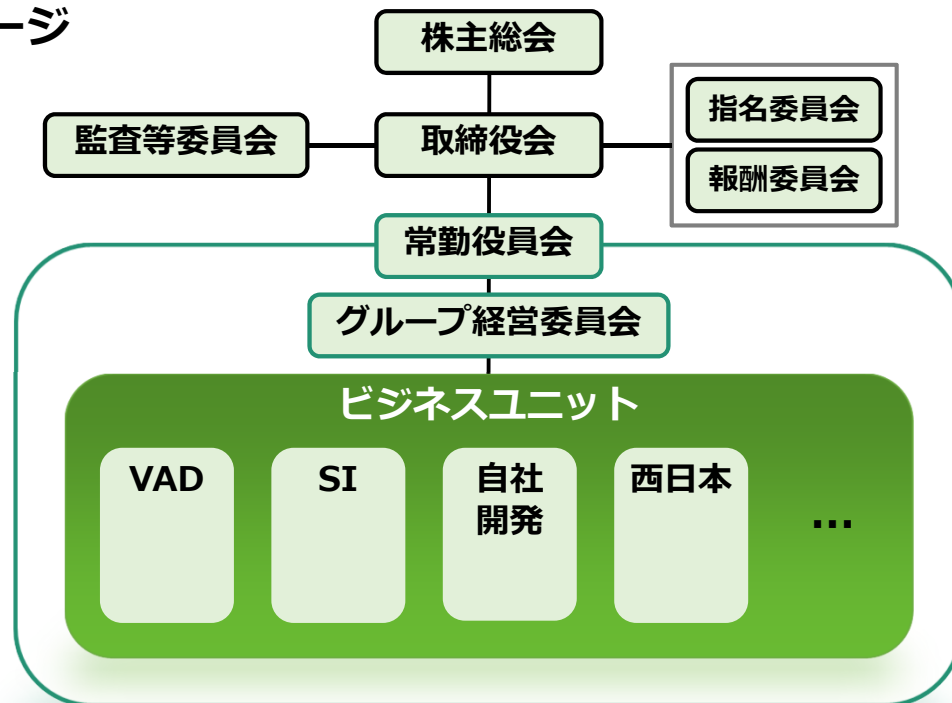
今後グループ全体
で同様に再編へ

2020年3月24日予定

監査等委員会設置会社への移行

ガバナンスの一層の充実と、さらなる経営の効率化を図る




今後の体制イメージ



人財投資

積極的な採用を継続・強化
教育費等を含み人件費1.9億円増加

自社開発の推進とプロモーション

  **RevoWorks** ⇒ 市場・顧客ニーズを迅速に取り込み付加価値を向上
 **WisePoint**

働きがいのある環境づくり

オフィスの増床・整備 ⇒ 2020年3月 東京オフィス増床予定、他も計画
働き方改革の推進 ⇒ 社内システムの増強、社内制度の見直し等

最先端セキュリティ & AIプロダクト

セキュアテレワークソリューション



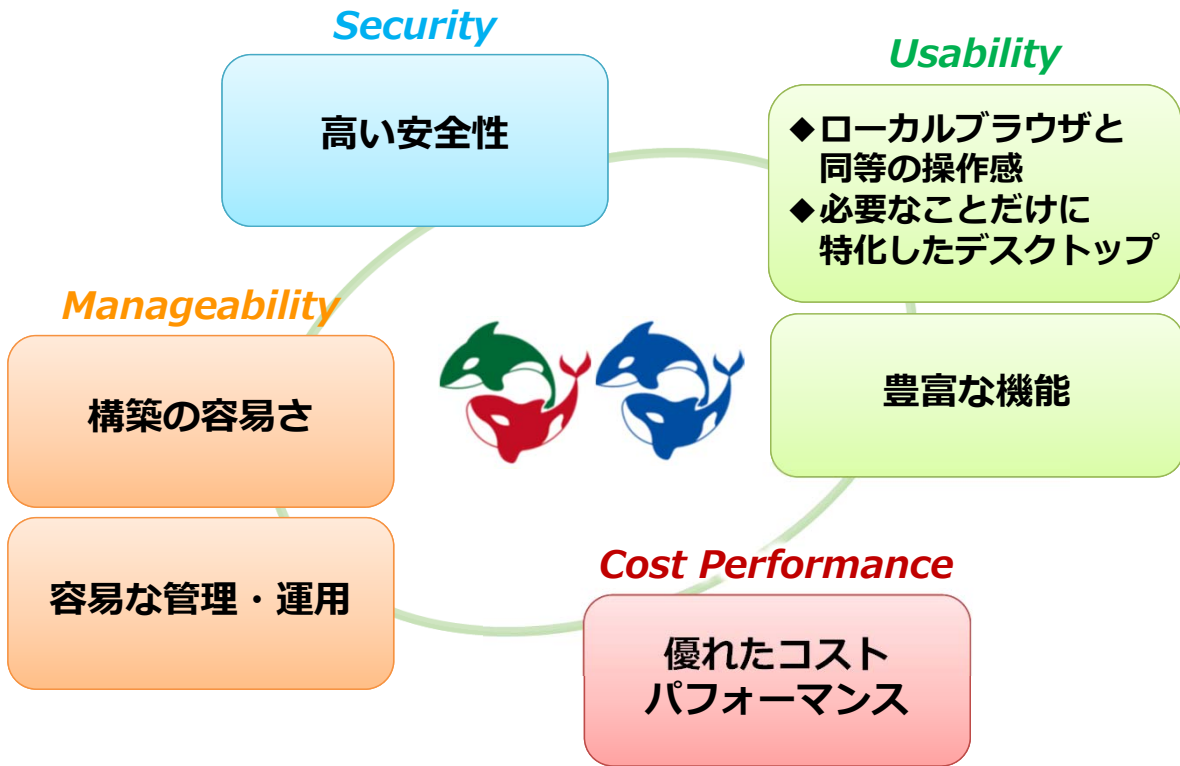
RevoWorks

順次リリース予定

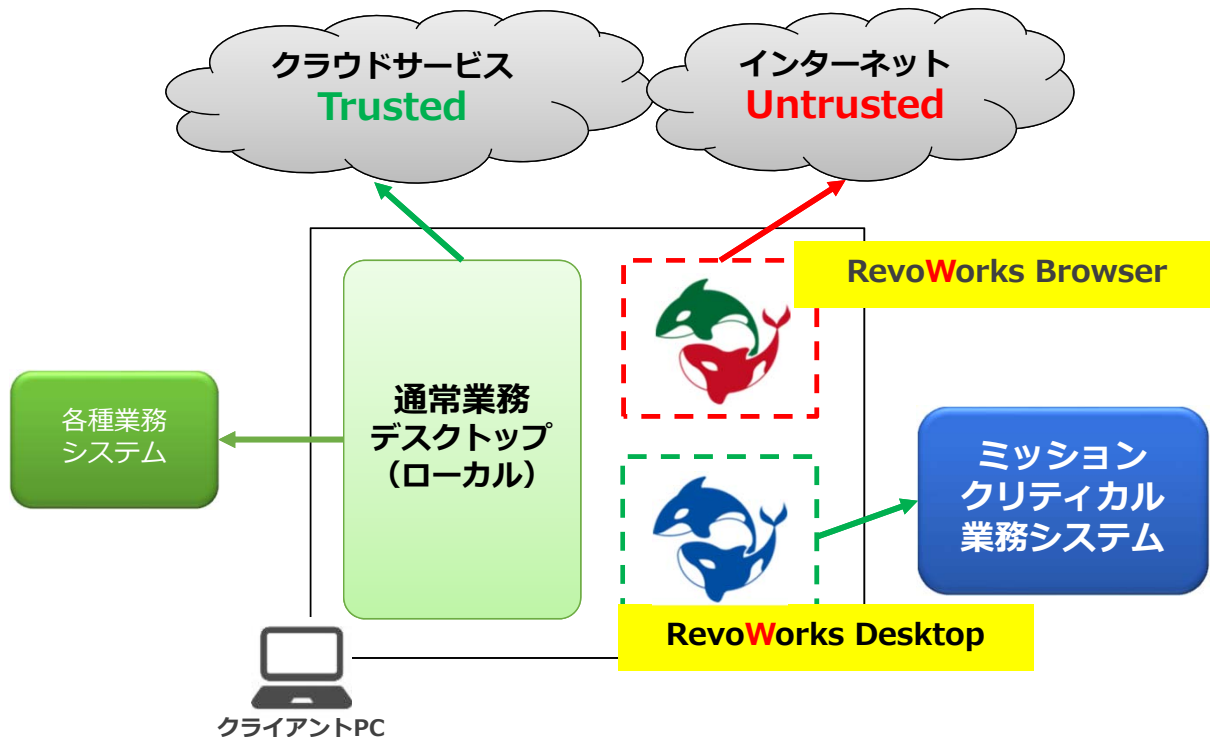
新規商材の取扱い、自社開発の推進を今後さらに加速へ

従来のテレワークソリューションは、大規模サーバ環境や複数台のPCを利用した、一部の企業でないと利用が難しいものです。

RevoWorksは、独自コンテナ技術を用い、操作クライアントにコンテナを生成しセキュアな環境を仮想的に生成、操作クライアントのみでセキュアなテレワーク環境を提供します。



RevoWorks PC1台3役の使い方で生産性向上



売上は引き続き 2 桁成長を見込む

中長期的成長を見据えた投資を継続し、利益は小幅増益に

単位：百万円

	2019.12月期	2020.12月期 (予想)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	9,646	11,012	1,365	14.2%
営業利益	548	581	32	6.0%
(利益率)	5.7%	5.3%		
経常利益	554	594	39	7.2%
(利益率)	5.7%	5.4%		
純利益	411	436	25	6.1%

2019年12月期は、

- ・ 東京証券取引所市場第一部指定
- ・ 2020年4月で創業25周年

を記念して記念配当を実施へ、1株あたり10円

2020年12月期予想は、1株あたり10円

	2018.12月期	2019.12月期 (予定)	2020.12月期 (予想)
1株あたり配当	5円	10円 (記念配当5円 含む)	10円
配当性向	15.1%	27.9%	26.3%

IT技術を駆使して価値を創造し、お客様とともに成長を続け、
豊かな社会の実現に貢献します。

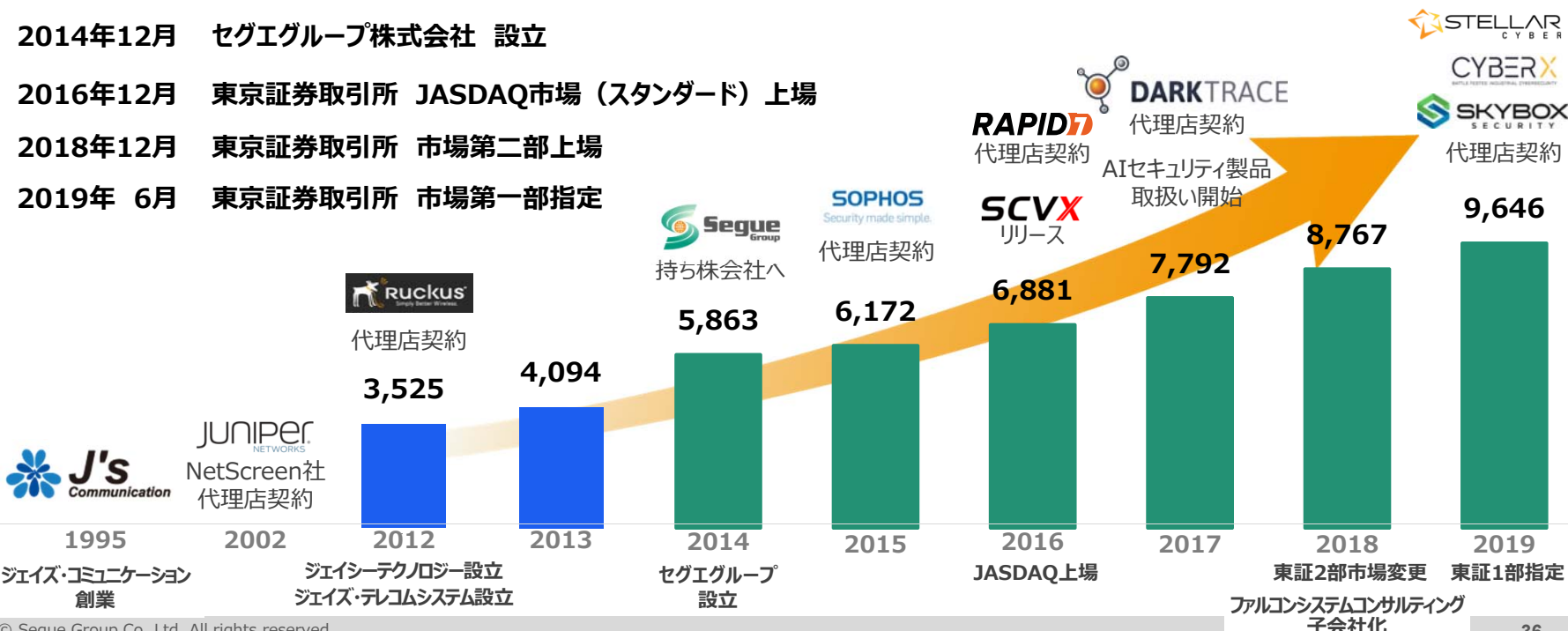


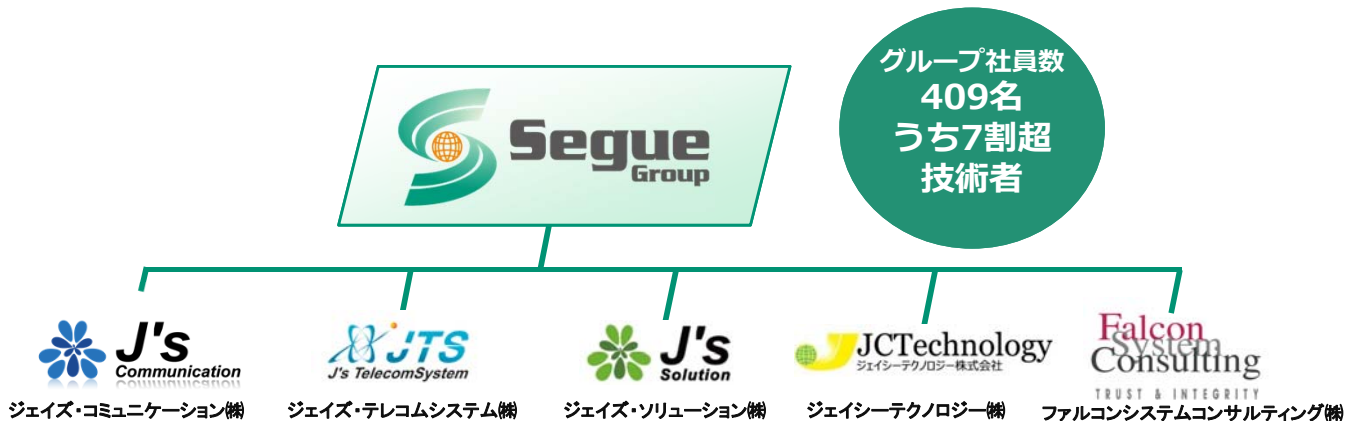
5. 參考資料



参考資料：セグエグループの歩み

- 1995年 4月 ジェイズ・コミュニケーション株式会社 設立（創業）
- 2002年10月 米国NetScreenTechnologies社 ファイヤーウォール製品（現：JuniperNetworks社）代理店契約を締結
- 2012年 8月 米国RuckusWireless社と代理店契約を締結
- 2014年12月 セグエグループ株式会社 設立
- 2016年12月 東京証券取引所 JASDAQ市場（スタンダード）上場
- 2018年12月 東京証券取引所 市場第二部上場
- 2019年 6月 東京証券取引所 市場第一部指定





ソリューションプロダクト



ネットワーク
セキュリティ製品



ITインフラ
製品

セキュリティ、ITインフラ製品を
組み合わせたソリューション提供
システムインテグレーション

ソリューションサービス



設計及び構築
サービス



保守
サービス



ヘルプデスク
サービス



その他
(監視・派遣等)

IT技術者 SEサービス

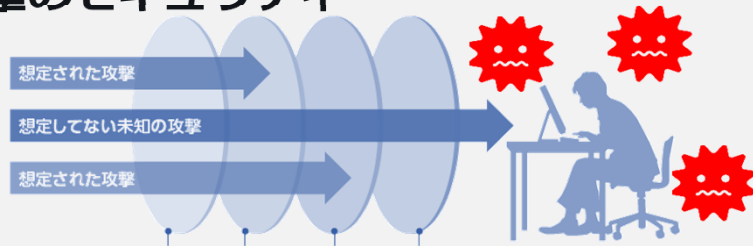
	メーカーとして (ソフトウェア製品)	代理店(VAD)として 海外、国内	システム インテグレータとして
	ソフトウェアライセンス販売 サポートサービス	製品、ソフトウェアライセンス販売 サポートサービス・ヘルプデスク オンサイト保守サービス	ITインフラ、セキュリティ 等の設計構築、導入サービス
プロフェッショナル サービス 設計、構築			
SEサービス 請負い、派遣			
マネージド サービス 監視、管理等運用			

パートナー、システムインテグレータ、お客様のご要望により様々な付加価値をご提供



グループ社員数
409名
7割超が
技術者
(2019年12月末)

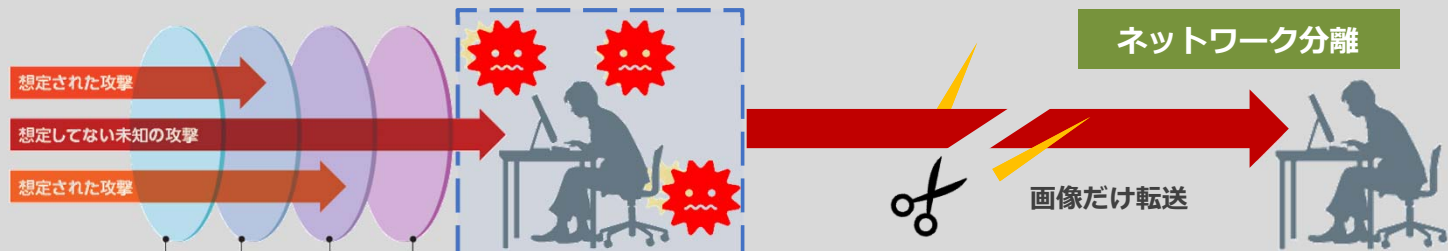
従来型のセキュリティ



企業における情報セキュリティ対策
特にインターネットセキュリティは、
「いたちごっこ」の状態

SCVX RevoWorks によるセキュリティ

侵入されない防御から侵入される前提の防御へ



- ① 攻撃を受けたとしても、その影響は仮想コンテナのみにとどまり、自身のPCは無傷
- ② 自身のPCのブラウザを落とすと仮想コンテナもマルウェアごと消滅

我が国の法人等（組織）が具体的に直面する脅威

提案できる問題解決策

1位 標的型攻撃による機密情報の窃取

SCVX  **RevoWorks**

 **JUNIPER NETWORKS** **SOPHOS**  **STELLAR CYBER**

2位 内部不正による情報漏えい

 **DARKTRACE**  **STELLAR CYBER**

3位 ビジネスメール詐欺による金銭被害

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

4位 サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃

 **STELLAR CYBER**

5位 ランサムウェアによる被害

SCVX  **RevoWorks**

RAPID7  **JUNIPER NETWORKS** **SOPHOS**

出典：「独立行政法人情報処理推進機構(IPA)2020年1月 「情報セキュリティ10大脅威 2020」 (組織)」

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

IRについてのお問い合わせ先
セグエグループ株式会社 経営管理部 IR担当

<https://segue-g.jp/ir/contact/>